

金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門主催

アンコール世界遺産インターンシッププログラムをふりかえって



2010



2011



2012



2013



2014



2015



2016



2017



2018



2019

<プログラム>

- ・アンコール世界遺産海外インターンシップの10年間
- ・小松短期大学/公立小松大学の海外インターンシップ
- ・埼玉大学の海外学生フィールド実習プログラム
- ・中央大学/東海大学の海外学生実習プログラム
- ・アンコールインターンシップ参加者の報告

- ・..... 塚脇真二 (金沢大学)
- ・..... 木村 誠 (公立小松大学)
- ・..... 荒木祐二 (埼玉大学)
- ・..... 高橋宏明 (中央大学)
- ・..... 佐藤 瞳 (2010), 笹田絵美 (2012)
- ・..... 田原綾女 (2013), 長谷川美香 (2014)
- ・..... 辻谷友紀 (2011)



日 時: 2021年3月13日(土) 午後1時30分～ 場 所: 金沢大学自然科学大講義棟1階AV講義室
問 合 せ: 金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門 塚脇真二 Email: shinji@se.kanazawa-u.ac.jp

アンコール世界遺産インターンシップ 10 周年記念シンポジウム
「10 年間の海外プログラムをふりかえって」

日 時：2021 年 3 月 13 日（土）午後 1 時 30 分～

場 所：金沢大学自然科学大講義棟 1 階 AV 講義室

○シンポジウムの趣旨

金沢大学環日本海域環境研究センターと人間社会学域国際学類との合同プログラムとして 2010 年度にはじまり、2015 年度からは同センターと小松短期大学/公立小松大学との合同プログラムとなった、カンボジアのアンコール世界遺産管理機構での海外インターンシッププログラムは 2019 年度で 10 回目が終了しました。これまでの参加学生数はチューター の学生もあわせるとのべ 104 名にもおよびます。

この 10 年間でアンコール世界遺産はおおきく変わりました。カンボジアの社会経済の発展や世界遺産を訪れる外国人観光客の急増にともなって、世界遺産を構成するクメール遺跡の保全修復は進み、観光都市としてシェムリアプはおおきく発展しつづけ、それとともに世界遺産で暮らすひとびとの生活や地域社会も変容しました。その一方で、学生たちの参加の目的やプログラム中の様子、帰国後の動機付けなどにも年を追うごとに変化がみうけられるようになりました。

世界的な新型コロナウイルスの蔓延のため 2020 年度のこのプログラムは中止とせざるをえませんでした。この機会に 10 年間のこのプログラムをふりかえりながら、また、ほかの大学で実施されている海外プログラムの情報をまじえながら、今後の海外インターンシッププログラムの有意義な実施に向けての議論を深めたいと考えています。

○プログラム

- 13:30 開 場
- 14:00-14:20 アンコール世界遺産インターンシップの 10 年間 塚脇真二（金沢大学）
- 14:20-14:35 小松短期大学/公立小松大学の海外インターンシップ . . . 木村 誠（公立小松大学）
- 14:35-14:50 埼玉大学の海外学生フィールド実習プログラム 荒木祐二（埼玉大学）
- 14:50-15:05 中央大学/東海大学の海外学生実習プログラム 高橋宏明（中央大学）
- 15:05-15:15 休 憩
- 15:15-15:30 参加者からの報告 1 . . . 佐藤 瞳（2010 年度参加, 2011, 2012 年度チューター）
- 15:30-15:45 参加者からの報告 2 . . . 笹田絵美（2012 年度参加, 2013 年度チューター）
- 15:45-16:00 参加者からの報告 3 . . . 田原綾女（2013 年度参加, 2017 年度チューター）
- 16:15-16:30 参加者からの報告 4 . . . 長谷川美香（2014 年度参加, 2015 年度チューター）
- 16:30-16:45 参加者からの報告 5 . . . 辻谷友紀（2011 年度参加）
- 16:45-17:15 休 憩
- 17:15-19:00 意見交換会～今後の海外プログラムの実施に向けて～
- 19:00 閉 会

問合せ：金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門 塚脇真二
電 話：076-264-5814, 電子メール：shinji@se.kanazawa-u.ac.jp